

総務委員会委員長方針

小栗康太郎

委員会日：毎月22日前後

=事務局メンバー=

副委員長：菱田 高志

運営幹事：岩本 千恵

会計幹事：市岡 明浩

委員：太田ゆかり 竹内 英貴

<委員長方針>

中津川青年会議所が、地域のより良い発展のために行動し、今後も地域から必要とされる組織であり続けるためには、人を突き動かすことのできる運動を展開していくことが重要です。そのために、メンバー間で確実に事業目的の共有を行い、皆が同じ方向を向いて行動することが必要です。だからこそ、これまでの中津川青年会議所の歴史で積み上げてきた議案書の仕組みを活かしつつ、より伝わりやすい議案書の形を作ると共に、効果的なデジタルツールを活用する中で、メンバーの声も取り入れながら、改善を重ねることで、より効率的な会議と本質的な議論ができる環境を追求していくことが重要です。そうすることで、より社会に良い影響を与えられる青年会議所に繋がると考えます。

会務業務に於いては、より良い運動に貢献するために、各委員会との疎通を図ることで、各議案に対する委員会の想いに理解を深め、事業計画書等の精査を行ってまいります。また、皆が議論に集中し有意義な会議とできるよう、丁寧な設営を心がけると共に、資料や記録の保全のデジタル化を進めることによって、メンバーにとってアクセスしやすい環境を作ってまいります。

私たちの活動は、これまで先輩諸兄姉がこの地域の中で積み上げてきた信頼があるからこそ成り立っています。OB交流会では、来年70周年を迎えるにあたり、今後の中津川青年会議所の発展に向けて想いを高めるため、今一度中津川青年会議所の歴史を振り返ることで、先輩諸兄姉へ感謝と敬意を改めて持つと共に、特別会員の皆様に現役メンバーの活動や想いを知っていただける懇親の機会としたいと考えます。

総務委員会メンバーには、全メンバーが活動しやすい組織を支える役割を意識し、メンバーを気に掛けて行動していただくことで、メンバーから信頼される人財となっていきたいと考えます。そのために、私は委員長として、委員会の各メンバーが当事者となれ

るよう、明確な役割を与えると共に、委員会の垣根を越えて、意思の共有ができる関係性を構築できるよう、積極的に関わりを持ってまいります。

<事業計画>

- ・OB交流会の開催

<事業予算>

- ・75,000円

<業務内容>

- ・理事会・例会の運営と記録の保全
- ・各委員会報告のとりまとめ
- ・会員拡大のとりまとめ